
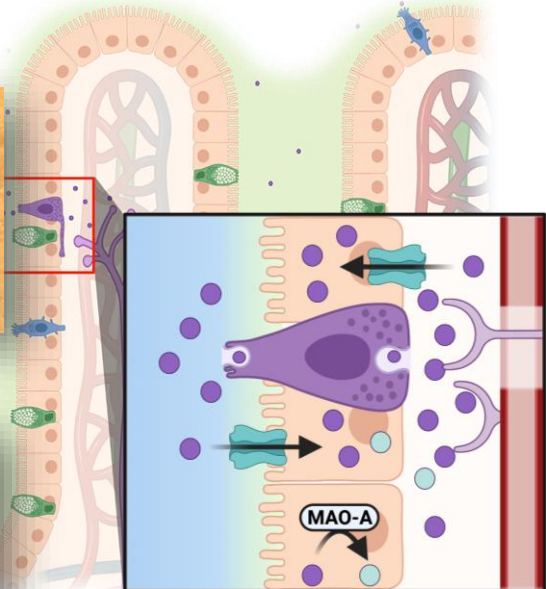


名前	鮎井 悠汰（フナイ ユウタ）	
所属	金沢大・薬, 薬物動態学研究室	
職種・学年	博士課程4年	
実験動物	ラット、アフリカツメガエル	
好きな実験	動物実験（目で見て結果が分かる実験 例：水分拳動等）	
趣味	研究??	
Homepage	http://dmpkatku.jp/	
ひとこと	内分泌研究はまだまだはじめたばかりです、、、	
研究紹介	私は現在、薬物動態学の視点から、消化管ホルモンの動態に着目し、医薬品誘発性消化器毒性の機序解明を目的に研究を行っています。医薬品が消化管ホルモン（現在はセロトニン）の吸収動態に影響を与えることでホメオスタシスが乱れ毒性を起こすのではないかと考えています。ホルモンに関して知識は浅いですが、何かありましたらご連絡ください。	
トピック1: 薬物動態学	薬物動態学は、医薬品の吸収/分布/代謝/排泄/毒性(ADMET)を日夜研究する学問です。特に、私たちの研究グループは、医薬品の消化管吸収に着目した研究を展開しています。薬物の消化管動態は謎めいた点が多く、正確な予測は未だ不可能です。	
トピック2: トランス ポーター	私たちのラボは、古くから薬物動態学の観点からトランスポーター研究を行うラボです。評価法の一つが特徴的でアフリカツメガエルの卵母細胞(oocyte)に遺伝子を注入し、トランスポーターを発現させて評価しています。最初は衝撃的でした。	



● Serotonin (5-HT)